



学校通信

花となれ 光となれ

為己 遂志 躍清

令和7年1月24日

第20号

一関市立藤沢中学校

冬に鍛える～大船渡駅伝・県中スキー大会～



1月12日(日)、良く晴れた絶好のコンディションの中、大船渡新春ロードレース大会が開催され、本校からは特設駅伝部男子2チーム、女子1チームが中学校駅伝の部に出場しました。県内の強豪チームが多く参加する中、選手とサポートに回った部員が一丸となり、「チーム藤中」として素晴らしいレースを展開してくれました。

今年度の大会はこれが最後となりますが、4月には「盛岡市内一周継走大会」があります。今回の大会で得た成果や課題をもとに、次の目標に向けてさらに練習を充実させて欲しいと思います。

また11日、12日の2日間、安比高原スキー場で岩手県中学校スキー大会のアルペン競技が開催され、2年生の千葉光惺さんが出場しました。1日目のジャイアントスラローム、2日目のスラロームにおいてそれぞれ2本とも完走し、実力を発揮することができました。

両大会とも寒い中、保護者の皆様の送迎や応援等のご協力、誠にありがとうございました。

大船渡新春ロードレース (駅伝の部) ※敬称略	男子A(西城 大住 小野寺翔 小野寺陸)	31位	※51チーム参加
	男子B(岩渕 千葉 佐藤 菊地)	35位	
	女子(伊藤 三浦 原 千葉)	14位	※26チーム参加
岩手県中学校スキー大会	千葉光惺 ジャイアントスラローム	23位	
		スラローム	19位
※ 敬称略			

みんなのために何ができるか～リーダー研修会～



冬休み中の12月26日(木)、生徒会執行部と専門委員長、及び1・2学年執行部を対象に、生徒会リーダー研修会が行われました。

生徒会活動を自主的・自律的に推進していくために、リーダーとしての心構えや話し合いの技術を学び、その資質の向上を図ること、さらに現在の学校課題を明らかにし、3学期からの活動の具体化を図ることを目的としています。

生徒たちは皆真剣な態度で参加し、協議の場では積極的に発言したりしていました。リーダーとして、「皆のために何かできることを探そう」、「活動を通して、自分を成長させよう」という気持ちが伝わってくる研修会となりました。

私もこの中で時間を頂き、「生徒会活動に期待すること」として、特に「ユニバーサルデザインの学校づくり」について講話を行いました。以下はその要旨です。

当日のプログラムとテーマ

活動Ⅰ 校長講話	「生徒会活動に期待すること」
活動Ⅱ 講話と協議	「藤中スタンダードを考える」
活動Ⅲ 協議	「自分の公約を実現するために」 (生徒会執行部・専門委員長)
	「最高学年に向けて」(2年生)
	「尊敬される先輩になるために」(1年生)

- ・ 校長として、藤沢中一番の課題は「学校に来られない仲間や学校に来て学級で皆と一緒に学習できない仲間がいること」だと感じている。
- ・ 「今まで学校に来られなかった仲間が来なくなる学校、今まで学級に入れなかった仲間と一緒に勉強したくなる学級」をつくるのが「藤沢中全ての生徒にとって生活しやすい学校」づくりにつながる。いわば「ユニバーサルデザインの学校づくり」を生徒会(全校生徒)と教職員で行っていききたい。
- ・ 少数の「〇〇できない人」を単に「ルールの守れない特別な人」ととらえるのではなく、その人たちの声に耳を傾けることによって、実は多くの仲間の気持ちに寄り添うことにもつながる。

上記の内容は、もちろん私たち教職員も常に意識すべきことではありますが、生徒たち自身も考え、主体的に学校づくりに参加していくことが、不登校を始めとした学校課題の改善につながると考えています。

活動Ⅱの「藤中スタンダードを考える」もこの一環で、生徒たち自身が改めて生活を見直し、改善の方針を全校に示していこうとする取り組みでした。今後はさらに、生徒による生徒心得の見直し等にも取り組んでいく予定です。今回の活動を足掛かりに、生徒たちとともに、より良い学校づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

生徒の感想より

役職や学年の違いを越えて話し合うことで、多くの意見や納得のできる結論が見つかって良かったです。それぞれが真剣に考え、さまざまに意見をまとめるところを見て、リーダーってすごいなあ、って思いました。そしてこれから頑張る活力になりました。(副会長 三浦翔司さん)

今回の研修では全ての活動で「リーダーとして必要なスキル」とは何かを考え、活動できたと思う。1人ではなく、色々な人と考えられたため、新たな考えを吸収できた。これからの活動では、「点検だけ」で終わらずに全校が良くなるために力を入れていきたい。(生活委員長 渡邊由乃さん)